

	制度名	概要	要件等	締切	リンク	リンク先
相談受付中	R7年度CO ₂ ゼロエミッション技術支援事業	<p>【趣旨】 農業分野における脱炭素化（温暖化防止）や化学肥料・化学合成農薬等の低減を一層推進していくため、バイオ炭を土壤に施用することで、土壤改良とともに土壤炭素貯留量を増加させ、間接的に大気中のCO₂削減に貢献する取組に対し支援します。</p> <p>【事業内容】 バイオ炭の施用に係る経費に対して補助を行います。</p>	<p>【実施主体】 バイオ炭を新規または拡大導入で1ha以上施用する個人または団体</p> <p>【補助要件】 「エコファーマー」の認定、「ちばエコ農業」栽培計画書の登録、「有機JAS認定」又は「みどり認定（土づくり及び化学肥料・化学農薬減少）」のいずれかを受けた（又は事業完了時までには受けることが見込まれる）農業者（団体を含む）であり、次の要件を両方満たすもの。 ①みどり認定（バイオ炭施用）を受けた、又は事業完了時までには認定を受けることが見込まれること ②バイオ炭施用面積が1ha以上であること</p> <p>【補助対象/補助額】 「バイオ炭施用に係る経費」3,000円/10a以内（定額）</p>	2025年5月25日	https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/co2zero.html	千葉県HP (2025年4月21日更新予定)
相談受付中	国内肥料資源利用拡大対策事業のうち、国内肥料資源活用総合支援事業	<p>【趣旨】 肥料の国産化に向けて、畜産由来の対比や下水汚泥資源などの国内資源の肥料利用を推進するため、肥料の原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者の連携づくりや施設整備等を支援します。</p> <p>【事業内容】 ① 国内肥料資源活用施設総合整備支援 国内資源由来肥料の製造、供給、流通等のための施設、設備等の整備 ② 国内肥料資源活用総合推進支援 国内資源由来肥料等の成分分析、原料の収集又は運搬等の実証、肥料の施策、国内資源由来肥料若しくはその原料の収集・運搬・加工・散布・調査等に必要な機械等の導入 ほか</p>	事業の詳細な内容につきましては、農林水産省のHP等をご覧ください。	2025年5月9日	https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryu/kokunaishigen.html	農林水産省HP